

かった。黄疸については、手術後一次、血清反応は正常にもかかわらず病的値を示したものが一例あるのみであった。B-SP については3～4カ月目頃に10%以下ではあるが、45分法で反応を見たものが3例、1例は手術後20%/45'を示したものである。血沈はいずれもが大体全経過中病的値を示した。

概見的に見ると、すべての反応がすべて病的値を示して来たものではなく、PZA によつて起つたと思われる強い黄疸も見られなかった。たゞこの内の数名は関節痛、皮膚の色素沈着等を認めたものがあつた。

〔追加〕

城所達士（東京医科歯科大国府台外科）

4カ月にわたり PZA 投与患者20例を経験した。

その間得たことは

1. B.SP 値は、4～5週に高値を示し、さらに経続投与すると正常値域内にもどる。
2. この間臨床蛋白分劃は、一般に変動を示さない。
3. 肺切除後胸壁癭をつくつたものにやや好経過を得た。

訂 正

本誌、第30巻3号（3月号）128頁（著者 矢島 忠）に、下記の如く著者より訂正要望がありましたので、訂正致します。

誤	正
図 8 略図	→ 図 10 略図
図 9 略図	→ 図 8 略図
図 10 略図	→ 図 9 略図